

算数担当が、算数を教えつつ、いろいろなことを考えてみました。

$\pi=3.141592653\dots$

No.4：私がしていることを再考してみた

令和7年4月28日
墨田区立柳島小学校
校長 近藤 幸弘
柳島小学校算数担当

私が日常の授業でやっていることを、改めて考えてみました。

当たり前のことですが、どの教員も「どうやったら学習内容を身に付けることができるだろう」と考えながら指導しています。今回は、私が普段授業でよくやっていることにどんな学習内容の定着効果があるのか、考え直してみました。

- 1 「『まずこうして、次にこうして…』と説明を思い出しながら、まとめを読むよ。」
- 2 「(筆算等、説明しながら書いたことを消した上で) 同じ筆算をやってみて。」
- 3 「〇〇さんが言っていたことを、(別の子に向かって) もう一度言ってみて。」

とりあえず私がよく使うセリフを挙げましたが、共通なことがあるみたいだな…と気がきました。何だと思いますか(ちなみに、これも授業でよく使うセリフです)。

①「思い出す」ということ、そして②「アウトプット(表現)」ということが共通ではないかと思いました。

①「思い出す」について

「アクティブ・リコール」という勉強法があります。「自発的に(＝アクティブ) 思い出すこと(＝リコール)」に主眼を置いた勉強法です。思い出すことで記憶に定着することが多いと聞いたことがあります。ですから、アクティブ・リコールはここをねらっているのかなと思いました。

演習問題を解くことも、例題の解き方を思い出しつつそれを応用しながら取り組みます。こうして様々な問題の解き方が身に付いていくのかなと思っています。

②「アウトプット」について

記憶の定着のためには、表現することがどうしても必要です。読むだけで覚える人も当然いますが、一般的には多くの人が英語や数学など、「読む」だけでなく、「書く」「声に出す」という「表現」をしながら勉強しているはずです。

①と②から、上記1～3には全て「思い出したことを表現する」が共通事項であるといえます。まだ小学生ですから、一人でやるのは困難です。1～3のように言って、児童が聞いたことや学んだことを思い出して表現するような状況にしていく必要があります。このことを考える前は無意識にしてきたことも、今は意識して使い分けるようにしています。